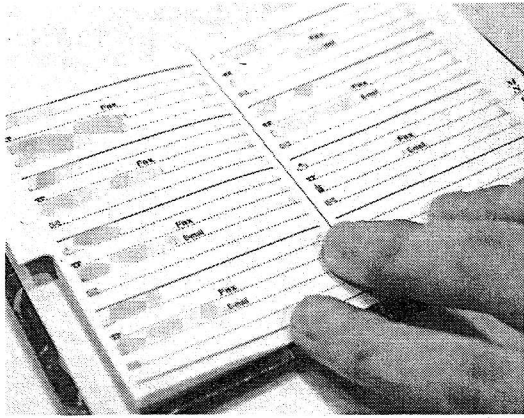
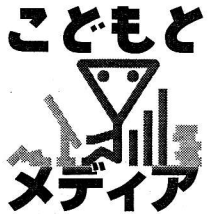


# ケータイ 私も揺れた



すぐに返信せざるにいられない「即レス症候群」。お風呂にまで持ち込む「ケータイ依存症」。最近の子どもの携帯電話事情を特集したところ、読者からたくさん反響がありました。生活習慣から友達関係まで、大きな影響を与えかねないだけに、多くのご家庭が頭を悩ませているようです。  
(高橋健次郎)

## 読者反響編



### 「なくても友達離れない」20歳・大学生

「会話の最中でも相手の片手には携帯電話。右手でメールを打ったりゲームをしたり。傷つけないわけがありません」。そんな投書を寄せてくれた神戸市の松澤ふゆきさん(20)を訪ねた。大学3年になる今まで、一度もケータイを持ったことがないという女性だ。

県立高校時代、ほとんどの級友がケータイを持っていました。持っていない、と話すときと驚かれた。「友達との輪に入っ

ていけないかも」と焦り、親にせがんだが答えはノー。母親の恵さん(52)は「ケータイに追い立てられるのが心配だった」と話す。

ケータイは、むしろメールの受け答えに使われる。少しでも友達との輪に入ろうとして考えついたのは、代わりにパソコンでメールを送ることにした。ただ、すぐに返事をする「即レス」が友達同士の暗黙の了解。夕方に帰宅して午後11時ごろに眠るまで、持ち運びできない居間のパソコンにかじりついた。

「いま、何してある」「テレビみてあるよ」。やじやのは、たわいのないものばかり。会話が終わったと思って電源を切ったと翌日、友達から「なんでメールを送さないの!」と怒られた。自分が寝た後に、メールが届いて携帯電話を持たない松澤ふゆきさん必携のアドレス帳。「待ち合わせで困ったら公衆電話からケータイにかけます」Ⅱ画像を一部加工してごます。

いた。そうこうするうちに、「ケータイを持ったら24時間振り回されてしまう」と考え始めた。以来、ケータイは持たないとした。友達には「うちの親が買ってくれないから」と、逆手にとって説明している。

「人はケータイを持つようになってから約束事ができなくなった」。そう感じるの

### 高校生の親から ルール厳守 根気よく

「約束ごとを決めても子どもは守らない」と嘆くのは京都府久御山町の母親(43)。府立高校2年の長女には入学と同時に買いつけ、「早寝早起きする」と約束させた。ところが、すぐに宿題をさぼり、深夜2時すぎまで夜ふかしし始めた。「ゲームにはまった」と長女。母親にケータイを隠された日、自宅の2階から目覚まし時計を投げつけ、ドアを叩いて暴れた。

は、友達と待ち合わせるときでも「メールで適当に集合」が普通になり、「何時にどこに集合」という約束が守られないときだ。

「もうそれが当たり前の中になんだよね」とあきらめそうになることもあるが、「やっぱり、こんな世の中は間違っている」と思い直す。そんな高校、大学時代を通じてわかったのは、「ケータイがなくても、本当の友達との関係は崩れない」ということだ。

小学校教諭を目指し、勉学に励む毎日。「ケータイなしでも生きていける『生きた教材』になれる」と笑う。「友人や親と向き合い、心がつながっていると感じていればケータイがなくても大丈夫」。子どもたちには、そう伝えたい。

またケータイは持たせたくない。しかし、持たざるを得ない環境になっている——。そんな指摘も多く届いた。

### 部活で必要 「仕方なく」

高校2年の息子を持つ和歌山県海南市の母親(47)は「トラブルが心配で、また与えたくなかった」という。しかし、息子が昨春入学した私立高校はケータイの持ち込みは禁止なのに、部活の連絡はメールの一斉送信で届く。今年8月、仕方なくケータイを買いつけた。

別の父親も「学校は『禁止』でも、実際は部活で使っている。黙認というか、奨励している」とさえ思える」。

子どもに、どうやって約束を守らせるか。京都市の山本昌子さん(43)は、長男16が中学2年のときにケータイを買った際に利用ルールを定め、8項目の「誓約書」を交わした。

食事中は使用禁止▽試験1週間前は母親に預ける▽プロフ(自己紹介サイト)は作らない▽困ったことがあれば家族に相談する——。サインもさせ、違反は目こぼしせずに

### TV・CMの影響 意見お寄せ下さい

テレビ番組やCMは子どもにどんな影響を与えているのでしょうか。ご家庭での体験や意見を募集しています。〒530・8211 朝日新聞大阪本社生活文化グループ「こどもとメディア」取材班へ。ファクスは06・6201・0179、メールはseikatsunews@asahi.com